

学校だより



みなみたなか

平成28年7月20日
練馬区立南田中小学校
校長 星美登里

4年に一度の特別の夏

～オリンピック・パラリンピック・イヤー～

校長 星美登里

いよいよ夏休みの始まりです。今年の夏は、4年に一度の特別の夏。スポーツの祭典・オリンピック・パラリンピックが開かれる年です。ブラジルのリオデジャネイロで8月5日から21日まで、パラリンピックは9月7日から18日まで開催されます。

世界中から集まった選手たちの素晴らしいパフォーマンスや日本の代表選手たちの活躍が今からとても楽しみです。「世界一」のトップレベルの選手たち一人ひとりに人知れぬ困難や努力があり、私たちにさらに感動させてくれます。陸上短距離のスーパースター、ジャマイカのウサイン・ボルト選手は北京オリンピック・ロンドンオリンピックの100m走、200m走、400mリレーで見事2大会連続金メダルを取っています。世界最強ともいえるボルト選手ですが、実は、背骨が生まれつき右側に曲がっている脊柱側湾症だそうです。背骨が曲がっているので、体のバランスが崩れやすく、足のけがも多くなります。それを克服するために、体の筋肉を徹底的に鍛えることで、強くなりました。そのトレーニングは大変辛いものだったのですが、ボルト選手の努力と、そして病気でもあきらめないという強い心が、病気に勝ったのです。そんな「努力の人」ボルト選手の今年の活躍も期待しています。

東京都教育委員会は、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」を、子供たちの人生にとってまたとない重要な機会と捉え、今年度から5年間、「東京都オリンピック・パラリンピック教育」を都内全ての公立学校で展開することとしています。この教育を通じ、次のような人間の育成を目標としています。

- (1) 自己を肯定し、自らの目標をもって、自らのベストを目指す意欲と態度を備えた人間
- (2) スポーツに親しみ、知・徳・体の調和のとれた人間
- (3) 日本人としての自覚と誇りをもち、自ら学び行動できる国際感覚を備えた人間
- (4) 多様性を尊重し、共生社会の実現や国際社会の平和と発展に貢献できる人間

どれも、将来、社会を支える子供たちに必要な資質です。平成32年(2020年)にこの東京で開催されるオリンピック・パラリンピックは、これからを生きる子供たちを育てる絶好の機会なのです。この夏のリオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピックは、12時間の時差がありますが、お子さんと一緒に、こんな視点からもご覧になってみてはいかがでしょうか。

4月からの1学期、皆様には温かいご支援・ご協力を賜り感謝申し上げます。9月に一回り大きくなった子供たちと会えるのを楽しみにしております。

～～オリンピック・パラリンピック教育の推進について～～

各学年でリオデジャネイロ・オリンピック・パラリンピックの観戦レポートなどの宿題が出ております。オリンピック・パラリンピックを契機に、世界の国々の文化等に興味・関心がもてればと考えています。

☆ ☆

東京都教育委員会では、2020年東京大会に向け「世界のともだちプロジェクト」を推進していきます。本校は、ギリシャ、フィリピン、セネガル、セントルシア、スロバキアの5か国を担当することになりました。日本の代表選手の応援はもちろん、この5か国の活躍にもご注目いただければ幸いです。